

物理学専攻調査票-記入要領

1. 物理学専攻調査票（別紙 2）はパソコン等で作成する場合は、枠の大きさ等の変更は加えないこと。手書きの場合は黒インク、黒ボールペン等で鮮明に記入し、PDF ファイルに変換する際は明瞭なものとする。

（ただし、受験番号は受領後、教務課教務企画係で記入します。）

2. 本調査票は、募集要項の 6-(2) に記載された他の出願書類と同様に、インターネット出願システムにアップロードすること。

3. 調査票の各項について、下記のことを参考にして記入すること。

⑧ 欄

大学 4 年次にどのような研究活動をしたか、その題目・内容をなるべく具体的に記入する。セミナー等で使用した教科書があれば書名と著者名を記入する。卒業研究・セミナー等まだ始まっていない場合は、実験系研究グループ希望者は、学部の実験授業の中で一番興味を持てたものについて、理論系研究グループ希望者は、講義授業の中で一番興味を持てたものについて、教員の名前を含めて授業内容をなるべく具体的に記入する。

⑩ 欄

入学後、学生は一つの“研究グループ”に所属する。面接試験は 5 つの“面接グループ”に分かれて試験を行う。各研究グループがどの面接グループに属するかを別紙 1-2 に示す。なお、“研究グループ”と“面接グループ”の詳細については、「東北大学理学研究科物理学専攻案内」のパンフレットを参照すること。このパンフレットは、

<http://www.phys.tohoku.ac.jp/research-fields/> から download 可能である。

【第一希望】欄には入学後に所属したい研究グループ名を一つ記入すること。

【第二希望】欄には第二希望の研究グループ名を一つ記入すること。決められない場合は面接グループ名を記入してもよい。

【第三希望】欄には、面接グループ名を一つ以上、希望順に記入すること。

※面接試験は、第一希望から第三希望をもとに行われるので、専攻案内のパンフレットやホームページ等で研究グループの研究内容を良く調べ、自分の希望する研究グループを明確にしておくこと。

⑫ 欄

後期 3 年の課程への進学希望の有無が判明している場合、いずれかに○印を付けること。

物理学専攻 面接グループ／研究グループ一覧

面接グループ	研究グループ
素・核理論	素粒子・宇宙理論
	原子核理論
物性理論	物性理論（理学部）
	金研理論物理*
素・核実験	素粒子実験（加速器）
	素粒子実験（ニュートリノ）
	原子核物理
	原子核理学
	核放射線物理
	加速器科学
物性実験 I	微視的構造物性
	低次元量子物理
	光電子固体物性
	極低温量子物理
	巨視的量子物性
	薄膜ヘテロ界面物性
	スピン構造物性
	強磁場物性物理学
	低温物質科学
	分子物性物理
	強相関電子物理
	物性実験 II
ソフトマター・生物物理	
光物性物理	
量子ダイナミクス	
結晶成長物理	
スピン機能物質科学	
表面構造物性	
スピン量子物性	
電子線ナノ物理	
結晶構造物性*	
量子機能計測	

令和6年度入学者を受け入れない研究グループに*印を付す。

また、募集要項「2 授業科目、担当教員および研究内容」のリストで◆印、◆◆印がついている教員は、令和6年度入学者を受け入れないので注意すること。

注意： 詳細については、物理学専攻案内（パンフレット）を参照のこと。